

《担当者名》守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

急性期にある患者の病態の基礎を学び成人看護各論の理解を促すため、主に外科治療の対象となる疾患の治療や合併症、および術前・術中・術後の病態生理を中心に学ぶ。

【学修目標】

- ・術前・術中・術後の看護の理解に必要な急性期の病態生理、麻酔法等について説明できる。
- ・救急やICU看護、また外科治療の対象となる各種疾患の看護に必要な知識を得る。
- ・心筋梗塞や脳血管疾患など頻度の多い内科領域の急性期病態について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	クリティカルケア 症状 1	意識障害・せん妄・腹痛	守田
2	クリティカルケア 症状 2	浮腫・ショック・胸痛・呼吸困難	守田
3	クリティカルケア 全身管理 1	呼吸管理・体温管理	守田
4	クリティカルケア 全身管理 2	体液循環管理・栄養管理・代謝管理	守田
5	クリティカルケア 全身管理 3	栄養管理・鎮痛鎮静管理・感染予防	守田
6	クリティカルケア 疾患 1	心筋梗塞・大動脈解離・クモ膜下出血	守田
7	クリティカルケア 疾患 2	ARDS・播種性血管内凝固症候群・外傷・熱傷・多臓器機能不全	守田
8	周術期 術前の準備 1	手術に対する生体反応・麻酔の基礎知識	守田
9	周術期 術前の準備 2	麻酔の実際	守田
10	周術期 術後合併症対策 1	術中・術直後の患者評価、一般的な術後合併症	守田
11	周術期 術後合併症対策 2	術後管理～疼痛・感染	守田
12	周術期 術後合併症対策 3	術後管理～出血・輸液・循環器・呼吸器	守田
13	周術期 疾患 1	脳外科領域、甲状腺、乳腺	守田
14	周術期 疾患 2	胸腹部	守田
15	周術期 疾患 3	運動器	守田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

系統看護学講座 臨床外科学総論・矢永勝彦 他・医学書院

【参考書】

看護のための臨床病態学・浅野嘉延 他・南山堂（病理2・成人病態1の教科書）

【備考】

Google classroomにて授業スライドを供覧し、復習用課題や学習課題を提示します。

【学修の準備】

毎回小テストを出します。予習が望ましいですが、できない場合には必ず授業で触れた部分の教科書を熟読してください。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3,4

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う